

ISSN 0912-0114

南予生物

Vol.19 2019



南予生物研究会

〈表紙写真の説明〉

左上 シュレーゲルアオガエル *Rhacophorus schlegelii*

ニホンアマガエルに似るが、本種は眼の後方に褐色斑がない（ニホンアマガエルにはある）。指先に吸盤がある。雄は繁殖期に、「ココココ」とカスタネットを連続で鳴らすような声で鳴く。雌は田んぼの畔の中などに泡状の卵塊を産む。

（愛媛県大洲市平野町野田鎌の田，2010年06月03日撮影）

右上 カジカガエル *Buergeria buergeri*

川で石や岩の隙間に隠れやすいような平たい体をしている。指先に吸盤がある。雄は繁殖期に、「フィー、フィー、フィフィ」と、カエルとは思えないような声で鳴く。

（愛媛県喜多郡内子町日野川，平野自治会館裏，大平川，2017年07月21日撮影）

左下 トノサマガエル *Pelophylax nigromaculatus*

あごから腹は白く、背の真ん中に一本の筋（背中線）がある。後肢が長くジャンプ力がある。指先に吸盤はない。雄は繁殖期に、「グルルル、グルルル」と鳴く。

（愛媛県大洲市平野町野田鎌の田（2017年07月24日撮影）

右下 タゴガエル *Rana tagoi*

ヤマアカガエルに似るが、本種のおごの色は暗色（ヤマアカガエルでは白っぽく、丸い斑がある）。指先に吸盤はない。雄は繁殖期に、水が染み出すような岩場で、「ワンワン」と聞こえるようなくぐもった声で鳴く。

（愛媛県八幡浜市保内町喜木津平家谷，2018年09月25日撮影）

写真・解説：松田久司（かわうそ復活プロジェクト）